

科目名	<b>資本主義経済論 I</b>	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択 □必修 □選択
英文表記	<b>Capitalism I</b>	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	しまだ こうや	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	<b>嶋田 耕也</b>	修得単位	<b>2単位</b>
授業のテーマ	商品・貨幣・資本の現実社会への作用		
授業概要	現代世界の中心的経済システムである資本主義を基礎概念から理解し、その抽象的概念が現実社会にどのように作用しているのか、段階を踏まえて説明します。		
到達目標	抽象的概念の基本的理解		
授業時間外の学習	日頃から新聞テレビなどで、経済現象に対して関心を持つようにしましょう。		
履修条件	資本主義経済論IIも履修することが望ましい。		
授業計画			
第1回	経済学とはどのような学問か。 経済という言葉の由来		
第2回	人類の歴史を二区分する。		
第3回	前近代と近代		
第4回	商品生産と貨幣		
第5回	投資＝貨幣の資本への転化		
第6回	資本の運動式		
第7回	資本の運動式とその特徴		
第8回	資本の発生		
第9回	第一次産業革命		
第10回	第一次産業革命が経済に及ぼした影響		
第11回	アダム・スミスと重商主義		
第12回	自由貿易体制の確立		
第13回	金本位制の確立		
第14回	資本主義経済の拡大と恐慌		
第15回	19世紀世界資本主義		
第16回	定期試験		
テキスト	中村達也・新村聡・八木紀一郎・井上義朗(2001)『経済学の歴史』有斐閣を薦める。		
参考文献・資料	講義中に適宜、紹介する。		
成績評価の方法	定期試験 (70%)、レポート提出 (30%)		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	水曜日に来訪してください。		
学生へのメッセージ	抽象的概念のイメージ化を目指そう。		

